

作成日 2011/6/6
改訂日 2024/3/20

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 JAMES試薬 - R1
製品コード 70542_10400
供給者の会社名称 ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所 東京都港区赤坂二丁目17番7号
電話番号 03-6834-2666
推奨用途 試薬
使用上の制限 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) 区分2
皮膚腐食性/刺激性 区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
呼吸器感作性 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(歯 呼吸器系)
環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分2
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H301 飲み込むと有毒
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H330 吸入すると生命に危険
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
H371 呼吸器系の障害のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ
H401 水生生物に毒性

注意書き
安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
呼吸用保護具を着用すること。(P284)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

特別な処置が緊急に必要である。(P320)

特別な処置が必要である。(P321)

口をすすぐこと。(P330)

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。(P342+P311)

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
塩酸	1-＜3%	HCl	(1)-215	既存	7647-01-0
物質(その他)	90-100%	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

特別な治療が緊急に必要である。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

特別な処置が必要である。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
呼吸用保護具を着用すること。

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

呼吸用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

二次災害の防止策

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
少量の場合、吸着剤（土・砂など）で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。
必要があれば消石灰、ソーダ灰などで中和する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
呼吸用保護具を着用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

保管

接触回避
安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
--	------	------------	-------------

塩酸	未設定	【最大許容濃度】 2ppm(3.0 mg/m ³)	TLV-CEILING, 2ppm
----	-----	--	-------------------

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
塩酸	未設定	未設定

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

ニトリル製保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具
必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

形状

データなし

色

無色透明～殆ど無色

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

なし

爆発下限界及び爆発上限 下限

データなし

界／可燃限界

上限

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

2

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配

データなし

係数

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.00 g/cm³

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性

通常取扱条件において安定である。

危険有害反応可能性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が238mg/kgのため区分3とした。

	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が0.42mg/lのため区分2とした。 製品のpHが2のため酸(pH≤2)とし、区分1とした。 製品のpHが2のため酸(pH≤2)とし、区分1とした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性		区分1の成分が2.59%のため、区分1とした。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 データ不足のため分類できない。
		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性 発がん性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。
		(生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
生殖毒性		区分1(呼吸器系)の成分が2.59%のため、区分2(呼吸器系)とした。
		区分1(呼吸器系)の成分が2.59%のため、区分2(呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(歯)の成分が2.59%のため、区分2(歯)とした。
		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
誤えん有害性		
12. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性 短	(毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が25.9%のため、区分2とした。
	水生環境有害性 長	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性		データなし
		データなし
		データなし
		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 強酸性であるため、アルカリで中和した後処理すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに
地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する
こと。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
IMOの規定に従う。
UN No. 1789
Proper Shipping Class 塩酸
8
Packing Group III
Marine Pollutant Not applicable
Liquid Substance Not applicable
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

国内規制

航空規制情報
ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. 1789
Proper Shipping Class 塩酸
8
Packing Group III
陸上規制 非該当
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
国連番号 1789
品名 塩酸
クラス 8
容器等級 III
海洋汚染物質 非該当
MARPOL 73/78 附属 非該当
書II 及びIBC コードに
よるばら積み輸送さ
れる液体物質
航空規制情報 航空法の規定に従う。
国連番号 1789
品名 塩酸
クラス 8
等級 III
緊急時応急措置指針番号 157

15. 適用法令
労働安全衛生法

特定化学物質第3類物質(特定化学物質障害予防規
則第2条第1項第6号)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
塩化水素(政令番号:98)
腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)
歯科健康診断対象物質(法第66条第3項、施行令第
22条第3項)

労働安全衛生法(令和6
年4月1日以降)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)

16. その他の情報
連絡先

参考文献

その他

特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務
物質(令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質
の一覧)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表
第9)

塩化水素(政令番号:98)

非該当

非該当

【問い合わせ先】

医療分野の方/代理店:0120-265-034

上記以外の方/代理店:0120-022-328

bioMérieux SDS(2023-11-17)

bioMérieux Package Insert(15460I-en-2020/04)

NITE-CHIRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構
化学物質総合情報提供システム)

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性
情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全
データシート(SDS)

ACGIH

ezSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に
基づいて作成しておりますが、現時点における化学又
は技術に関する全ての情報が検討されているわけでは
ありませんので、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたもので
す。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮を
お願いします。

【改訂履歴】

化管法対応済(R5.04施行分)

安衛法対応済(R6.04施行分)

住所変更(2025.12)